

別紙

■東日本・家族応援プロジェクトについて

人間科学研究科の教員および大学院生による、サービスラーニングを含めた災害復興支援プロジェクト。2011年の東日本大震災発生以降、毎年、東北4県（青森県、岩手県、宮城県、福島県）を訪れ、漫画家兼家族療法家で、立命館大学訪問教授の団士郎氏の作品を展示する「家族漫画展」の開催や、現地の対人援助機関と連携し、社会・福祉・介護など多様な職種に関わる方のための支援者支援セミナーを実施するなど、各地域のニーズに応じた支援プログラムを実施。同時に、大学院教育のPBL（プロジェクト型）学習として、地域に学びながら、活躍する対人援助職の人材育成や、多様な声に耳を傾け、社会に貢献する研究者を養成。震災発生から11年、震災の影響と復興の証人として記録を蓄積してきました。

プロジェクトメンバーは、これまでの臨床経験から“圧倒的な喪失”や“厳しい現実”を乗り越えるためには、その苦しみや悲しみの深さを知り、関心を寄せ続けてくれる人の存在が、何より支えになることを実感してきました。対人援助の専門家として、関西から長くできることを考え、現地の人々と顔の見える関係を築き、その声に耳を傾け、被災と復興の証人となることを決意し、本プロジェクトを進めてきました。

URL：<http://www.ritsumei.ac.jp/gshs/info/detail/?id=27>

■当日のプログラム（予定）

13:00 研究科長あいさつ・プロジェクト概要と企画趣旨

第1部 11年目の証人たち

- ・大学院生による活動報告
 - ①むつチーム ②石巻チーム ③多賀城チーム ④宮古チーム ⑤福島チーム
- ・各地の皆さまからのメッセージ「来訪者を受け入れて」

14:40 第2部 証人になるとは、いかなることだったのか？

- ・担当教員による話題提供
- ・プロジェクトメンバーによるフォトボイス
- ・まとめ

16:00 第3部 明日に繋ぐ～それぞれの継承～

- ・各地の皆さま、修了生、大学院生による話題提供
- ・参加者との意見交換
- ・まとめ

17:00 オンライン交流会

URL：<http://www.ritsumei.ac.jp/fukkor/join/detail/?id=103>